Copyright © 2015 NTT DATA INTRAMART CORPORATION

目次

- 改訂情報
- はじめに
  - 本書の目的
  - 前提条件
    - サポート対象のPDFファイル
  - 対象読者
  - 用語解説
- インストール前に
  - 全体のインストール作業の流れ
  - ■＜構成(1)＞ 各APサーバに IM-PDFDirectPrint for Accel Platform をインストールする場合
  - ■＜構成(2)＞ APサーバとは別に 印刷サーバ（Windows）を用意し、APサーバが 印刷サーバ（Windows）を共有して利用する場合
  - 必要なライセンス
  - インストール前に必要な確認事項
  - 正常に動作しない環境
  - 注意事項
- 各種インストール・設定変更
  - ＜構成(1)＞ 各APサーバに IM-PDFDirectPrint for Accel Platform をインストールする場合
    - PDFれびゅーOCX のインストール
    - 環境変数の設定
    - プロジェクトの作成とモジュールの選択
    - デプロイ
  - ＜構成(2)＞ APサーバとは別に 印刷サーバ（Windows）を用意し、APサーバが 印刷サーバ（Windows）を共有して利用する場合
    - intra-mart Accel Platform サーバでの作業
    - 印刷サーバ（Windows）での作業
- アンインストール
  - 作業前に…
  - IM-PDFDirectPrint for Accel Platform の削除
  - 環境変数の削除
  - PDFれびゅーOCX のアンインストール

改訂情報

変更年月日	変更内容
2015-10-01	初版

はじめに

目次

- 本書の目的
- 前提条件
  - サポート対象のPDFファイル
- 対象読者
- 用語解説

本書の目的

本書では IM-PDFDirectPrint for Accel Platform のセットアップ手順について説明します。

前提条件

1. intra-mart Accel Platform サーバで運用される場合を前提にしております。
2. 以下のドキュメントに記載されているシステム要件を満たしている必要があります。
   - 「 IM-PDFDirectPrint for Accel Platform リリースノート」
3. IM-PDFDirectPrint for Accel Platform は、Windowsマシン上に構築する必要があります。APサーバが Linux/UNIX の場合は、個別に営業までお問合せください。

サポート対象のPDFファイル

事前にご評価頂ければ、一般的なPDFファイルはほとんど問題がないことはご理解頂けると思いますが、安定した運用を考えますとPDFファイルを生成するソフトを制限することをお勧めします。以下は当社がバージョンアップ等を常にウォッチして動作確認をしているPDFファイルの範囲です。ご確認をお願い致します。
下記以外のPDFファイルでも、別途有償にてサポート可能な場合があります。個別に営業までご相談ください。

- **サポートするPDFファイルの範囲.pdf**

対象読者

以下の利用者を対象としています。

- intra-mart Accel Platform サーバでの IM-PDFDirectPrint for Accel Platform のセットアップを行われる方

用語解説

- Resin をインストールしたディレクトリを %RESIN_HOME% と略します。
- Apache HTTP Server をインストールしたディレクトリを %APACHE_HOME% と略します。
- Storage として使用するディレクトリを %PUBLIC_STORAGE_PATH% と略します。
- Webサーバ利用時の静的コンテンツを配置するディレクトリを %WEB_PATH% と略します。
- IM-PDFDirectPrint for Accel Platform をインストールしたディレクトリを %PDFPRINT% と略します。

インストール前に

目次

- 全体のインストール作業の流れ
- ■＜構成(1)＞ 各APサーバに IM-PDFDirectPrint for Accel Platform をインストールする場合
- ■＜構成(2)＞ APサーバとは別に 印刷サーバ（Windows）を用意し、APサーバが 印刷サーバ（Windows）を共有して利用する場合
- 必要なライセンス
- インストール前に必要な確認事項
- 正常に動作しない環境
- 注意事項

全体のインストール作業の流れ

IM-PDFDirectPrint for Accel Platform は、2パターンの構成が可能です。

＜構成(1)＞
各APサーバに IM-PDFDirectPrint for Accel Platform をインストールする構成

＜構成(2)＞
APサーバとは別に 印刷サーバ（Windows）を用意し、APサーバが 印刷サーバ（Windows）を共有して利用する構成

各構成は、以下の手順でインストール作業を進めます。

■＜構成(1)＞ 各APサーバに IM-PDFDirectPrint for Accel Platform をインストールする場合

- intra-mart Accel Platform サーバでの作業
  1. PDFれびゅーOCX のインストール
  2. 環境変数の設定
  3. IM-Jugglingでwarファイルの作成
  4. warファイルのデプロイ
  5. サンプルの実行
  6. 上記作業をAPサーバの台数分 実施してください。
- 付属のサンプルプログラムが正常に動作することを確認し、インストール作業は完了です。

■＜構成(2)＞ APサーバとは別に 印刷サーバ（Windows）を用意し

■＜構成(2)＞ APサーバとは別に 印刷サーバ(Windows)を用意し、APサーバが 印刷サーバ（Windows）を共有して利用する場合

- 印刷サーバ（Windows）での作業
  1. Javaランタイムのインストール
  2. Tomcat のインストール
  3. PDFれびゅーOCX のインストール
  4. 環境変数の設定
  5. warファイルのデプロイ
  6. Tomcat の起動
- intra-mart Accel Platform サーバでの作業
  1. jugglingでwarファイルの作成
  2. warファイルのデプロイ
  3. サンプルの実行
  4. 上記作業をAPサーバの台数分 実施してください。
- 付属のサンプルプログラムが正常に動作することを確認し、インストール作業は完了です。

必要なライセンス

IM-PDFDirectPrint for Accel Platform をご利用いただくには、以下のライセンスが必要になります。
製品のインストールの際にライセンスを入力してください。
ライセンスが未入力の状態では動作しませんのでご注意ください。

- IM-PDFDirectPrint for Accel Platform のライセンス

インストール前に必要な確認事項

インストール前に、必ず以下を設定・確認してください。

- OSの最新のパッチをインストールしてください。
- 必ずインストールするマシン自体に管理者権限（Administrator）のあるユーザでログインしてください。
  ネットワーク管理者権限（Network Administrator）があっても、そのマシン自体の管理者権限（Administrator）がないことも考えられます。

正常に動作しない環境

以下の環境では正常に動作しませんのでご注意ください。

- IM-PDFDirectPrint for Accel Platform を、Citrix XenApp等のシンクライアント専用サーバにインストールすることは極力止めてください。クライアントがCitrix XenAppを使用しているだけで問題が起きる訳ではありませんが問題の切り分けが困難になります。IM-PDFCoordinator for Accel Platform インストールサーバと、シンクライアント（Citrix XenApp）専用サーバが別のサーバであれば、問題ありません。
- リモートデスクトップや、それに類似した製品での IM-PDFDirectPrint for Accel Platform インストールサーバへのアクセスに関しては、メンテナンス用にまれにアクセスするのであれば、問題ありません。常時アクセスは止めてください。
- その他正常に動作しない環境については、各製品マニュアルを参照ください。

注意事項

以下を事前にご確認ください。

- ウイルスソフトによっては、ウイルスチェック時にファイルを掴むものがあります。PDF処理に影響がでる場合は、作業フォルダをウイルスチェックの対象から外す必要があります。
- IM-PDFDirectPrint for Accel Platform は、Windowsマシン上に構築する必要があります。APサーバが、Linux / UNIXマシンの場合は、個別に営業までお問い合わせください。

各種インストール･設定変更

IM-PDFDirectPrint for Accel Platform のセットアップに必要な、以下のインストール作業および設定を行います。
利用予定の構成に合わせてインストール作業を実施してください。

＜構成(1)＞ 各APサーバに IM-PDFDirectPrint for Accel Platform をインストールする場合

目次

- PDFれびゅーOCX のインストール
- 環境変数の設定
- プロジェクトの作成とモジュールの選択
- デプロイ

intra-mart Accel Platform サーバでの作業内容を説明します。
intra-mart Accel Platform サーバを複数台 用意する場合は、すべての intra-mart Accel Platform に以下の作業を実施してください。

PDFれびゅーOCX のインストール

1. intra-mart Accel Platform サーバに管理者権限（Administrator）のあるユーザでログインしてください。
2. PDFれびゅーOCX の圧縮ファイル（ysspdfpr.vX.X.zip - Xの部分はバージョン番号）を解凍し、適切な場所に配置してください。

> **コラム**
>
> Windows7 / Windows Server 2008（以降のOS含む）では、セキュリティが強化されております。結果、”Program Files” 以下にインストールされたプログラムのファイルアクセスが制限されるケースがあります。IM-PDFDirectPrint for Accel Platform の配置場所に、”Program Files”は避けてください。
>
> （インストール先の例）C:\tool\pdfpr

> **コラム**
>
> インストールパスには、バージョン番号を含めないことを推奨します。
> インストールパスには環境変数を設定するため、バージョン番号をパスに含めた場合、環境変数の再設定が必要となる場合があります。

環境変数の設定

1. intra-mart Accel Platform サーバに管理者権限（Administrator）のあるユーザでログインしてください。
2. 以下の環境変数を設定します。
   通常であればシステムの環境変数に設定いただければ問題ありません。
   OSのビット数に合わせて、環境変数を設定してください。

   IM-PDFDirectPrint for Accel Platform をインストールしたディレクトリを %PDFPRINT% と略します。
   %PDFPRINT% の部分を実際のパスに置き換えて設定してください。

環境変数名	設定内容（32bit / 64bit）
PATH	%PDFPRINT%\bin32
PATH	%PDFPRINT%\bin64

3. コマンドプロンプトを起動し、以下のコマンドを実行してください。

```
> ysspdfpr.exe -v
```

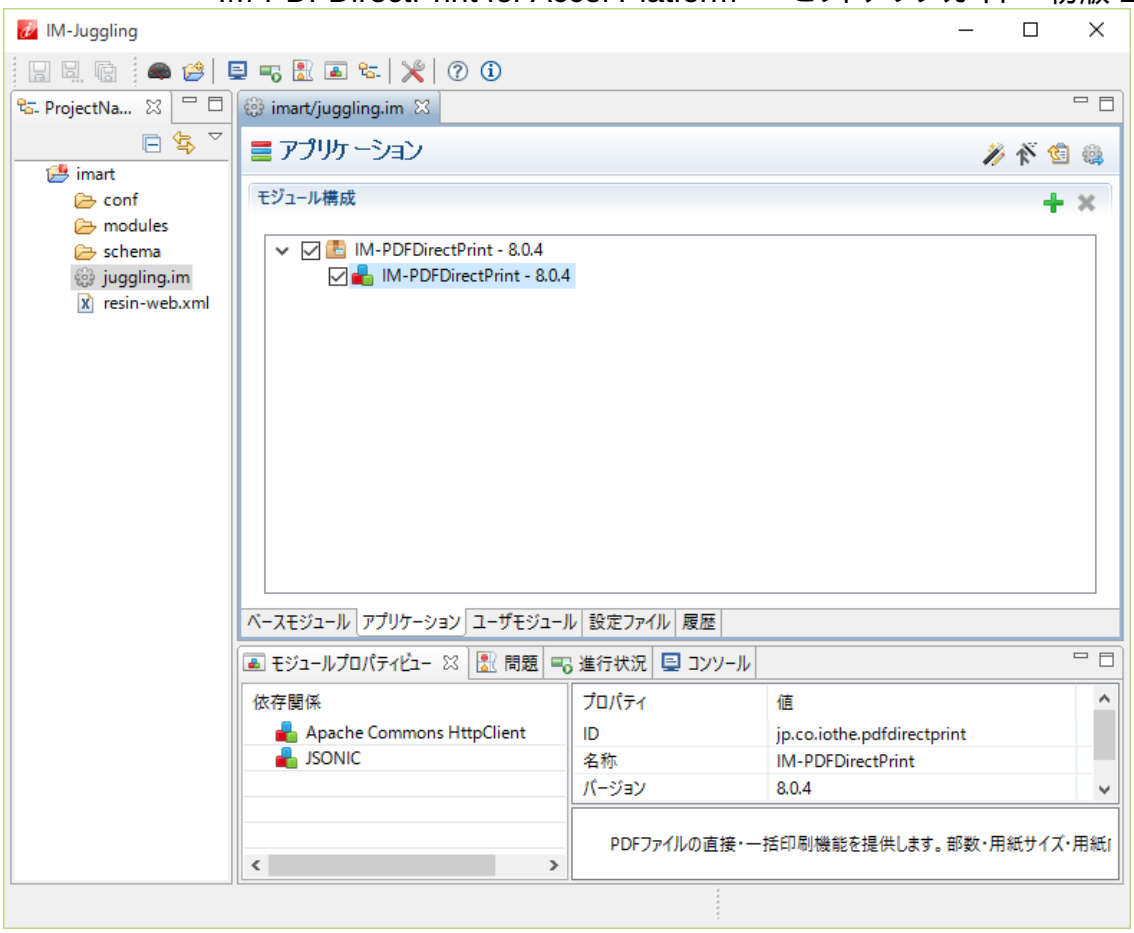
4. 画面にバージョン番号が表示されれば環境変数の設定は完了です（xの部分には製品のバージョン番号が入ります）。

```
ysspdfpr 64Bit Vx,x,x,x
ysspdfpr 64Bit Vx,x,x,x
Copyright (C) 2015 - yss
```

プロジェクトの作成とモジュールの選択

1. intra-mart Accel Platform セットアップガイドにしたがって、プロジェクトを用意します。
   プロジェクトの作業手順の詳細については、intra-mart Accel Platform セットアップガイドを参照ください。
2. IM-Jugglingから、IM-PDFDirectPrint for Accel Platform を追加してください。
3. ベースモジュールの、下記ライブラリにチェックをつけてください。
   - Apache Commons HttpClient 3.1.0
   - JSONIC 1.2.11

> **コラム**
>
> 複数のアプリケーションを Resin に配置している場合は、すべてのアプリケーションに配置してください。



デプロイ

1. intra-mart Accel Platform セットアップガイドにしたがって、デプロイを行います。

＜構成(2)＞ APサーバとは別に 印刷サーバ（Windows）を用意し、APサーバが 印刷サーバ（Windows）を共有して利用する場合

IM-PDFDirectPrint for Accel Platform のセットアップに必要な以下のインストールおよび設定を行います。

intra-mart Accel Platform サーバでの作業

目次

- プロジェクトの作成とモジュールの選択
- デプロイ

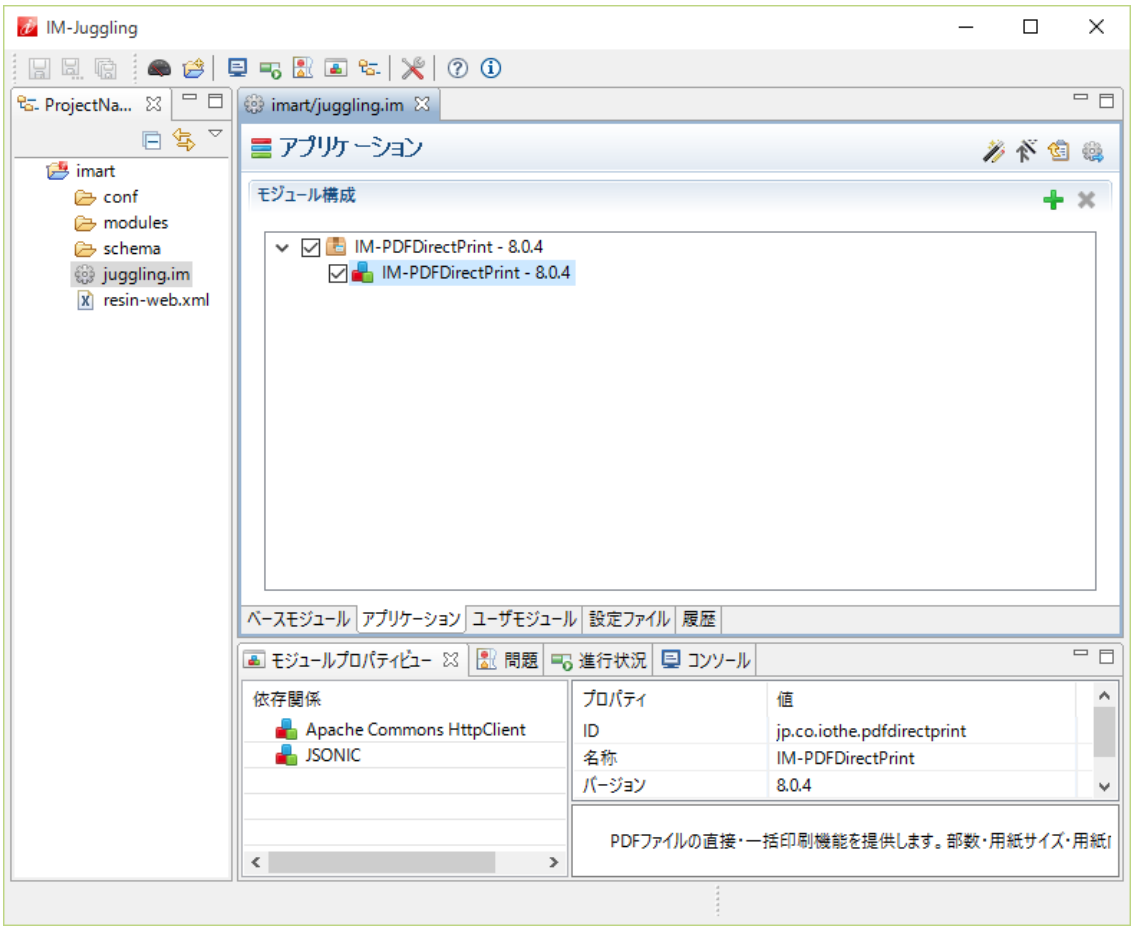
intra-mart Accel Platform サーバでの作業内容を説明します。
intra-mart Accel Platform サーバを複数台 用意する場合は、すべての intra-mart Accel Platform に以下の作業を実施してください。

プロジェクトの作成とモジュールの選択

1. intra-mart Accel Platform セットアップガイドにしたがって、プロジェクトを用意します。
   プロジェクトの作業手順の詳細については、intra-mart Accel Platform セットアップガイドを参照ください。

2. IM-Jugglingから、IM-PDFDirectPrint for Accel Platform を追加してください。

3. ベースモジュールの、下記ライブラリにチェックをつけてください。
   - Apache Commons HttpClient 3.1.0
   - JSONIC 1.2.11



デプロイ

1. intra-mart Accel Platform セットアップガイドにしたがって、デプロイを行います。

印刷サーバ（Windows）での作業

目次

- PDFれびゅーOCX のインストール
- 環境変数の設定
- Javaランタイムのインストール
- Tomcat のインストール
- warファイルのデプロイ
- Tomcat の起動

印刷サーバ（Windows）での作業内容を説明します。

PDFれびゅーOCX のインストール

1. 印刷サーバ（Windows）に管理者権限（Administrator）のあるユーザでログインしてください。
2. PDFれびゅーOCX の圧縮ファイル（ysspdfpr.vX.X.zip - Xの部分はバージョン番号）を解凍し、適切な場所に配置してください。

> **コラム**
>
> Windows7 / Windows Server 2008（以降のOS含む）では、セキュリティが強化されております。結果、”Program Files” 以下にインストールされたプログラムのファイルアクセスが制限されるケースがあります。IM-PDFDirectPrint for Accel Platform の配置場所に、”Program Files”は避けてください。
>
> （インストール先の例）C:\tool\pdfpr

> **コラム**
>
> インストールパスには、バージョン番号を含めないことを推奨します。
> インストールパスには環境変数を設定するため、バージョン番号をパスに含めた場合、環境変数の再設定が必要となる場合があります。

環境変数の設定

1. 印刷サーバ（Windows）に管理者権限（Administrator）のあるユーザでログインしてください。
2. 以下の環境変数を設定します。
   通常であればシステムの環境変数に設定いただければ問題ありません。
   OSのビット数に合わせて、環境変数を設定してください。

   IM-PDFDirectPrint for Accel Platform をインストールしたディレクトリを %PDFPRINT% と略します。
   %PDFPRINT% の部分を実際のパスに置き換えて設定してください。

環境変数名	設定内容（32bit / 64bit）
PATH	%PDFPRINT%\bin32
PATH	%PDFPRINT%\bin64

3. コマンドプロンプトを起動し、以下のコマンドを実行してください。

```
> ysspdfpr.exe -v
```

4. 画面にバージョン番号が表示されれば環境変数の設定は完了です（xの部分には製品のバージョン番号が入ります）。

```
ysspdfpr 64Bit Vx,x,x,x
ysspdfpr 64Bit Vx,x,x,x
Copyright (C) 2015 - yss
```

Javaランタイムのインストール

1. 印刷サーバ（Windows）に管理者権限（Administrator）のあるユーザでログインしてください。
   以下は参考としてJDK.Ver.8.x の前提で記述しています。基本は intra-mart Accel Platform で使用するJDKのバージョンと合わせてください。

2. Javaランタイムをダウンロードします。Javaランタイムのインストーラは、オラクル社のサイトからダウンロードできます。
   http://java.com/ja/download/（2015年10月 現在）

3. ダウンロードしたインストーラから、インストールを行います。インストールに関する詳細は、オラクル社のサイトを参照してください。

4. インストール完了後に、コマンドラインに以下を入力しリターンキーを押します。

```
> java　−version
```

5. コマンドラインにJavaのバージョン情報が表示されたら、インストールは成功です。

Tomcat のインストール

1. PDF変換サーバ（Windows）に管理者権限（Administrator）のあるユーザでログインしてください。
   以下は参考としてTomcat.Ver.7.x の前提で記述しています。

2. Tomcatのインストーラをダウンロードします。
   http://tomcat.apache.org/（2015年10月 現在）

3. ダウンロードしたインストーラから、インストールを行います。

インストールに関する詳細は、該当ドキュメントを参照してください。

4. 各サーバの環境に合わせて、Tomcatを適宜 設定してください。

5. Tomcatのポート番号は Resinサーバ のポート番号と衝突しないようにしてください。
   Tomcatのポート番号は %CATALINA_HOME%/conf/server.xml にて設定できます。

> **コラム**
>
> Tomcatは、Ver.7.x / 8.x で検証しています。他のアプリケーションサーバ上で稼動させる場合は、個別に営業までご相談ください。

warファイルのデプロイ

1. CD-ROMの　imartserver　フォルダを開き、pdfdirectprint.war ファイルを、TomcatのWEBアプリケーション配置ディレクトリにコピーします。
   通常は %CATALINA_HOME%webapps です。

> **コラム**
>
> Tomcat 7.x / 8.x にて検証しています。

> **注意**
>
> warファイルのデプロイ時には、WEBアプリケーションサーバ（Tomcat等）を停止してください。

Tomcat の起動

1. Tomcatを起動してください。

> **コラム**
>
> Tomcat起動中のログに異常（Exceptionなど…）がないことを確認ください。

アンインストール

intra-mart Accel Platform サーバ、および 印刷サーバ（Windows）での作業内容を説明します。
intra-mart Accel Platform を複数台構築している場合は、各 intra-mart Accel Platform サーバにて以下の作業を実施してください。
作業内容は、構築している環境に合わせて適宜読み替えて作業ください。

目次

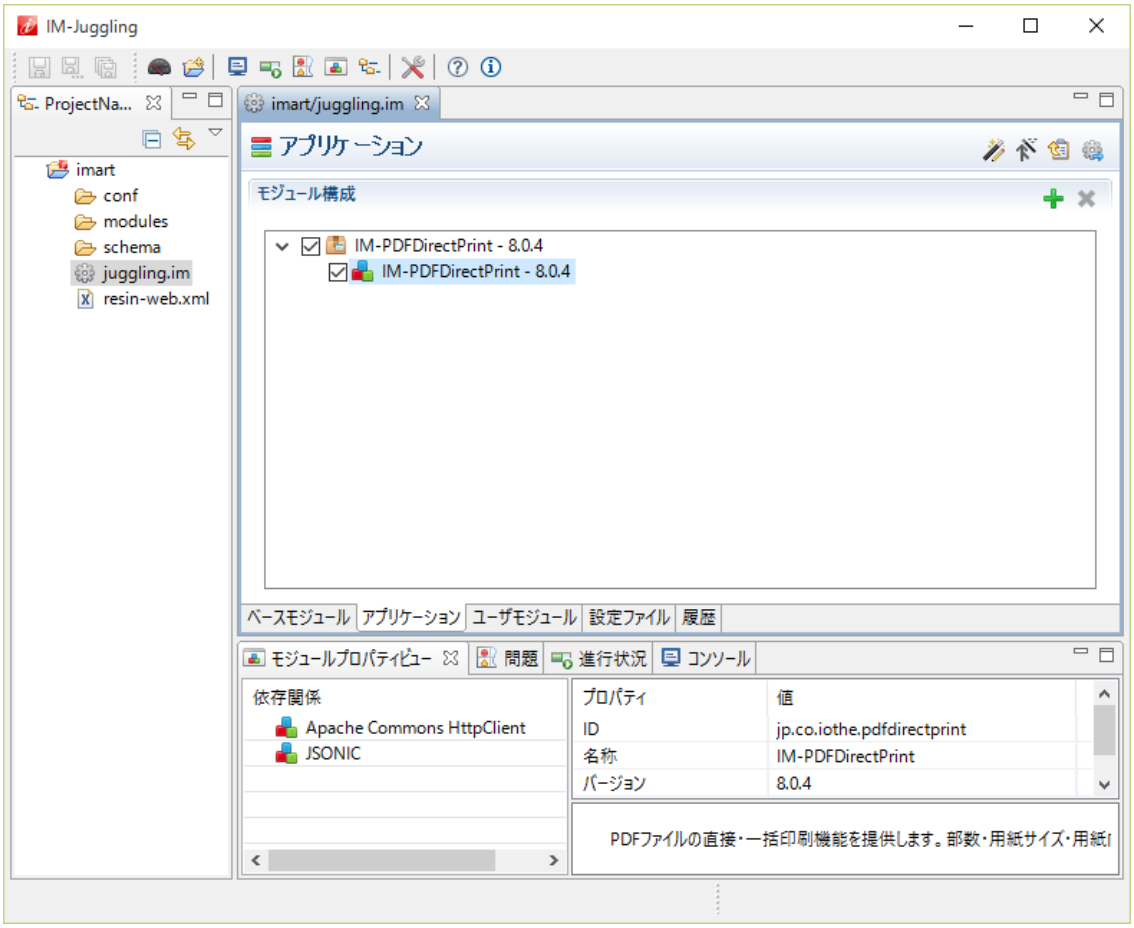
- 作業前に...
- IM-PDFDirectPrint for Accel Platform の削除
- 環境変数の削除
- PDFれびゅーOCX のアンインストール

作業前に...

Resin および Tomcat（ 印刷サーバ（Windows）を構築している場合 ）を停止してください。

IM-PDFDirectPrint for Accel Platform の削除

IM-PDFDirectPrint for Accel Platform は、intra-mart Accel Platform の追加モジュールです。
IM-Jugglingから、IM-PDFDirectPrint for Accel Platform の選択を外し保存することで削除されます。



環境変数の削除

1. intra-mart Accel Platform サーバに管理者権限（Administrator）のあるユーザでログインしてください。
   印刷サーバ（Windows）を構築している場合は、印刷サーバ（Windows）にログインしてください。

2. 以下の環境変数を削除します。

   IM-PDFDirectPrint for Accel Platform をインストールしたディレクトリを %PDFPRINT% と略します。
   %PDFPRINT% の部分を実際のパスに置き換えてください。

環境変数名	設定内容
PATH	%PDFPRINT%\bin32
PATH	%PDFPRINT%\bin64

PDFれびゅーOCX のアンインストール

1. 以下のファイルを削除します。

場所	フォルダ名
%PDFPRINT%	ysspdfpr

   IM-PDFDirectPrint for Accel Platform をインストールしたディレクトリを %PDFPRINT% と略します。
   %PDFPRINT% の部分を実際のパスに置き換えてください。

コラム

複数台の intra-mart Accel Platform を利用している場合は、すべての intra-mart Accel Platform に対して実施してください。

注意

上記作業には、ResinもしくはTomcatが停止している必要があります。